



にじのはし幼稚園 園だより

平成29年5月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 酒井 正美



園庭では、鯉のぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。

晴れた日には、皁月の心地よい気候の下、子供たちが戸外での遊びを十分に楽しんでいます。

先日、3歳児ことり組の子供たちが初めて園庭に遊びに出た時のことです。5歳児いるか組のお兄さん、お姉さんが来てくれて、一緒に靴を取り換えたり、手をつないで園庭を散歩して案内をしてくれたりしました。その後、部屋の前のテラスに座り、みんなで鯉のぼりを眺めていました。教師が歌う「こいのぼり」の歌に合わせて知っているところを一緒に歌ったり、鯉のぼりをじーっと見つめたりと、ゆったりとした時間が流れていました。

この年齢の子供たちの記憶は、将来的には断片的に残るかどうかということになると思います。しかし、このとき感じた年長児の優しさ、教師や友達との心地よい時間、気候の爽やかさ、大きな鯉のぼりを見上げた感激などは、しっかりと子供たちの心の育ちにつながります。日々の教育の中で経験させたいことを、遊びや生活の中でどのように出合わせつなげていくか、教師はタイミングや状況、物や場、人との関わりといった環境を1日または数日の流れの中で計画します。

また自国理解の面から、伝統や文化に触れることを大切にしていきたいと考えています。グローバルな世界の中で、他国や他の国の人を尊重するためには、まず自国の伝統と文化を尊重し愛することが必要です。各家庭で大きな鯉のぼりを揚げる、柏餅をいただくなど、昔ながらの伝統的な行事を行うことは少なくなり難しいことがあることと思います。このような中、伝統的な行事を幼稚園の教育に取り入れていくことは大切だと考えています。

大きな鯉のぼりを見たことから、自分たちの「鯉のぼり」作りが始まりました。学年の発達に合わせた技能の経験ができるような鯉のぼりを、楽しんで作っています。3歳児ことり組は自分で作った鯉のぼりを手に持ち、空に泳ぐ鯉のぼりの下を、うれしそうに走り回っています。

「物、人、こと」との素敵な出会いから、歌を歌う、鯉のぼりを作る、作った鯉のぼりで遊ぶなど、楽しい遊びが広がっています。そして体験を通じて、主体的に関わり充実感を味わったことは、次の遊びや生活につながっていきます。

是非ご家庭でも、今、お子さんが楽しんでいることに寄り添い、一緒に楽しんでみてください。子供たちが楽しんでいるとき、それは成長をしているときです。一緒に楽しむ大人の関わりは、きっと子供たちの体験をより豊かなものにするでしょう。

